

第30回、31回防災アカデミーを開催

第30回防災アカデミーが、6月27日(水)、環境総合館レクチャーホールにおいて、災害対策室主催のもと開催されました。今回は、浅岡 顕工学研究科教授による「液状化の謎に迫る－地盤工学のアプローチ－」と題した講演が行われました。

伊勢湾周辺の埋立地をはじめ、濃尾平野には液状化による災害が懸念されている地域が広がっており、名古屋の周辺に住む人には、避けて通ることができない災害であるにも関わらず、液状化現象についてわかりやすい解説を聞く

機会は少なかったため、今回の講演は待望されていました。講演では、まず、液状化現象を理解する上で欠かせない地盤力学の基礎が丁寧に説明されました。その後、豊富な事例を交えながら、液状化現象がもたらす被害等が紹介されました。

7月17日(火)には、第31回防災アカデミーが開催され、小林郁雄神戸山手大学教授による「復興まちづくりへの挑戦－阪神・淡路大震災の教訓－」と題する講演が行われました。

小林教授は自らが阪神・淡路大震災の被災者であり、神戸の復興まちづくりに積極的に関与してきました。講演では、被災直後と復興後に撮影された沢山の写真が紹介され、実例に基づいて復興プロセスを理解することができました。



講演する浅岡教授



第31回防災アカデミーの様子